

緊急メール機能付き WEB メール『TRメール』

ー保護者と学校をつなぐ信頼のコミュニケーションツールー

ハッピーネット株式会社 代表取締役 黒川 裕司

kurokawa@happynet.co.jp

<http://www.happynet.ne.jp/>

キーワード：電子メール，緊急メール，携帯電話，WEB メール

1. はじめに

『TRメール』は、平成13年に岐阜大学教育学部附属中学校の協力の下に開発され、現在、主に岐阜県下の小中学校でサービスを提供している。

平成15年には、岐阜大学教育学部附属中学校の依頼により、地震や台風などの自然災害が発生したときに、学校から保護者の携帯電話メールアドレスなどへ緊急情報を送信することができる緊急メール機能を開発した。さらに、クラス単位・学年単位でのメール送信も可能である。特に、昨年は平年より台風が多くTRメールの緊急メール機能が、一斉下校の通知に効果を発揮した。さらに、不審者などの情報をタイムリーに流すことにより、保護者には安心感を与えている。

また、日常的な連絡に使われる連絡メール機能も、保護者と学校の間をつなぐ連絡手段として活用されている。

これまで様々な学校のニーズに応じて機能を拡張してきたが、今後もより使い易くするための改良を行っている。

2. TRメールの機能概要

(1) WEB メール

TRメールは、WEBメールという仕組みである。

WEBメールは、インターネットに接続されているパソコンがあれば、世界中のどこからでもメールを送受信することができる。

TRメールのアカウントを登録すると、利用者1人1人に、WEBメールのアドレスが1個提供される。

(2) 緊急メール

緊急時に、学校から提供される情報を緊急メールとして、携帯電話やパソコンで受け取ることができる。

緊急メールは、台風などの自然災害で一斉下校するとき、あるいは、不審者が現れたときのような緊急時に、学校側から情報を送信することができる。

緊急メールを受け取るメールアドレスは、保護者1人に対して、携帯メールアドレス、または、パソコンのメールアドレスを合わせて、合計3個まで登録することができる。

(3) 連絡メール

緊急メールのような緊急性がない通常の連絡事項を、緊急メールと同じように、学校から発信することができる。

3. 実践事例と今後想定される活用方法

(1) 緊急メールの事例

平成16年度は、台風の襲来が多く、暴風警報が発令された時点で、数度にわたり以下のような文面で、登録されている保護者の携帯やパソコンに一斉送信を行った。

【緊急】

※このメールは附属小学校全ての登録者に送信されています

緊急情報

○×時○△分 暴風雨警報が発令されました。

本校児童は、給食をとり、○▲時から下校します。

各家庭での受入をお願いします。

また、保護者が生徒の帰宅を確認し、携帯やPCから、学校に返信をすると、その送信アドレスから生徒の学年、クラス、氏名を判別することができるシステムを構築してあるため、生徒の帰宅の確認をすばやく行うことができた。また、同時に、担任のメールアドレスにも転送しているため、担任が、学級の生徒の帰宅確認を容易に行うことができた。

(2) 連絡メールの事例

緊急性のない連絡についても、保護者の希望により、授業参観やPTA行事などの連絡を、携帯やPCに直接送信することができるため、学校で文書を印刷し、生徒を通して紙で配布するよりも、速く確実に、伝達することができた。

送信例

明日は学習状況調査があります。

趣旨等をご理解いただき、ご協力をお願いします。

(3) 学習メールの事例

TRメールのアドレスを生徒1人1人に配付することで、学習のために活用することもできる。

TRメールは、WEBメールであるため、メーラーの設定が不要であり、学校のどのパソコンでも、生徒は送受信が可能である。クラス単位で、クラス全員に一斉にメールを送る連絡メール機能を活用できる。

たとえば、小学校社会科で

「鎖国は日本にどんな影響を与えたのだろう」

と教師がクラス全員の生徒に対して連絡メールを送信することで、生徒は、学校でも、家庭でも、図書館でも、課題を確認し、再び、学級全体に対しメールを返信することができた。

また、HTTPプロトコルで動作するため、LANがFTPやPOPを許可していない場合にも、いつでも、どこでも送信することができた。

4. 期待される導入効果

- ・ 現在、ほとんどの保護者に普及している携帯電話に、一斉に緊急メールを送ることによって、緊急時の連絡を素早く手間を掛けずに行うことができる。
- ・ 緊急メールへの保護者からの返信メールを、担任の先生に自動で振り分ける転送することにより、安否確認を行うことができる。
- ・ 学校からの連絡事項を、生徒を介さずに保護者に直接連絡することで、連絡漏れをなくすることができる。
- ・ 生徒や先生の一括で登録・変更。削除ができるので、年度変わりにメールアドレスの変更作業がスムーズにできる。

5. 導入校

岐阜大学教育学部附属中学校、岐阜大学教育学部附属小学校、各務原市立那加中学校（平成16年度導入）
岐阜市立本荘小学校（17年度導入予定）ほか

6. 今後の課題

- ・ 現在、緊急メールアドレスの登録が、PCのみでしか行うことができない。それを携帯電話から緊急メールアドレスを変更できるように機能を追加する。
- ・ 保護者と学校とのコミュニケーションをよりスムーズにするために、担任の教師が使用するための管理機能の改良強化する。

以上